



2025年3月期 第3四半期決算補足説明資料

福山通運株式会社
(証券コード：9075)

2024年2月13日

1.連結業績

(単位：百万円/%)	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減額	前年同期比
売上高	218,254	228,829	10,575	104.8
営業費用	207,310	220,360	13,050	106.3
営業利益 (営業利益率)	10,944 (5.0)	8,469 (3.7)	△2,474	77.4
経常利益 (経常利益率)	12,523 (5.7)	10,907 (4.8)	△1,615	87.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,447	9,649	2,202	129.6

売上高

特積みの物量回復・単価改善に加え、貸切件数の増加や倉庫の取扱数量増加などにより増収

営業利益

売上高は増加したものの、2024年問題対応・ドライバー不足対応のための人件費・外注費の増加や減価償却費の増加により減益

経常利益

為替変動や環境関連補助金の受取額増加などにより営業外損益は+859百万円

四半期純利益

運送事業におけるコスト増加による減益があったものの、投資有価証券の売却により増益

2.セグメント別業績

(単位：百万円/%)	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減額	前年同期比
売上高 合計	218,254	228,829	10,575	104.8
運送事業	171,178	177,784	6,605	103.9
貸切事業	18,108	19,781	1,672	109.2
流通加工事業	15,709	16,801	1,092	107.0
国際事業	8,070	8,904	833	110.3
その他事業	5,186	5,557	371	107.2
営業利益 合計 (利益率)	10,944 (5.0)	8,469 (3.7)	△2,474	77.4
運送事業	9,073 (5.3)	6,513 (3.7)	△2,560	71.8
貸切事業	1,559 (8.6)	1,706 (8.6)	147	109.4
流通加工事業	2,267 (14.4)	2,518 (15.0)	251	111.1
国際事業	288 (3.6)	263 (3.0)	△25	91.2
その他事業	877 (8.2)	867 (7.5)	△9	98.9
調整額	△3,121	△ 3,399	△278	—

運送事業

特積みは回復したものの（重量+3.0%、単価+1.2%）、2024年問題やドライバー不足対応のための人件費・外注費の増加や減価償却費の増加により増収・減益

貸切事業

専用コンテナ・ダブル連結トラックを活用した貸切輸送サービスの営業強化により取扱件数が増加し、増収・増益

流通加工事業

新設倉庫の本格稼働に伴う取扱数量の増加や単価改定により増収・増益

国際事業

輸入貨物量の増加により利用運送や通関取扱いは好調だったものの、海外におけるトラック輸送の取扱い減少により増収・減益

その他事業

景況感の改善に伴い商品販売収入は増加したものの、減価償却費の増加などにより増収・減益

3.分野別運送収入

運送収入

※2024年4～12月稼働日数：前年同期比100.1%

* 当社の荷物分類定義

小口貨物：1件1個30kg以下 商業貨物：1件6個121kg以上

商業小口：1件5個120kg以下 重厚長大：1個100kg以上または1件500kg以上

(単位：百万円/%)		2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減額	前年同期比
分野別運賃	小口貨物	43,356	44,932	1,576	103.6
	商業小口	37,489	38,575	1,086	102.9
	商業貨物	35,208	36,523	1,315	103.7
	重厚長大	37,485	39,909	2,423	106.5
	計	153,537	159,939	6,401	104.2
その他の運賃		16,909	17,081	172	101.0
その他運送事業収入		732	764	32	104.4
計		171,178	177,784	6,605	103.9

輸送4要素

(前年同期比/ 単位：%)	トンキロ単価	個当り単価	Kg当り単価	重量
小口貨物	101.0	101.8	101.4	102.2
商業小口	100.6	101.8	101.0	101.9
商業貨物	101.5	100.6	101.2	102.5
重厚長大	101.4	99.2	101.7	104.7
全体	101.0	101.2	101.2	103.0

4. 営業費用

(単位：百万円/%)	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減額	前年同期比
営業費用 合計	207,310	220,360	13,050	106.3
人件費 合計	99,022	103,124	4,102	104.1
人件費	91,436	93,667	2,231	102.4
外注人件費	7,585	9,456	1,870	124.7
物件費 合計	73,450	78,199	4,748	106.5
燃料費	10,783	11,413	630	105.8
備車費	22,065	23,534	1,469	106.7
貸切備車費	12,801	14,293	1,492	111.7
その他	27,799	28,956	1,157	104.2
諸費 合計	23,655	25,768	2,113	108.9
取扱手数料	10,250	10,720	470	104.6
その他	13,405	15,048	1,642	112.3
減価償却費	11,182	13,268	2,085	118.6

人件費

ベア及び物量増に伴う給料手当の増加に加え、2024年問題の対応や労働環境改善における外注人員の増員及び委託単価の上昇により、外注人件費が増加

物件費

ドライバー不足対応による集配備車費、貸切案件増加に伴う貸切備車費がともに増加

諸費

国際事業における取扱い増加に伴う売上原価の増加のほか、管理コストの単価上昇や一過性コストの発生などにより増加

減価償却費

前年度からの車両更新台数の増加に伴い車両の減価償却費が増加

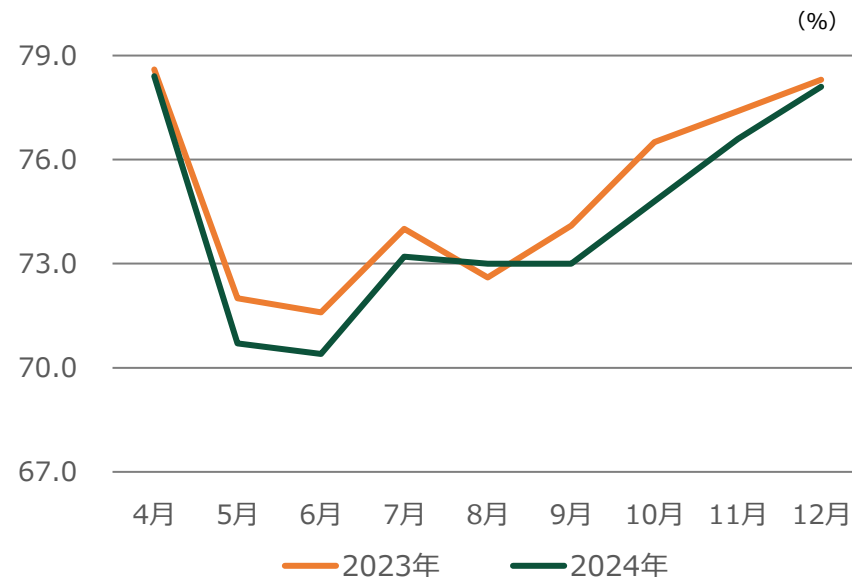
5. ネットワークの業績推移

ネットワークの業績推移

※対象コスト：従業員給料、外注費、
(フェリー輸送・鉄道輸送含む)、燃料費、高速代

(単位：%)	発生額 前年同期比			重量当たり 前年同期比		
	第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)
ネットワーク 収入	102.8	104.4	105.1	100.7	100.7	102.0
主要コスト	106.5	105.1	105.9	104.3	101.3	102.7
マージン	92.3	102.4	103.0	90.3	98.7	99.9

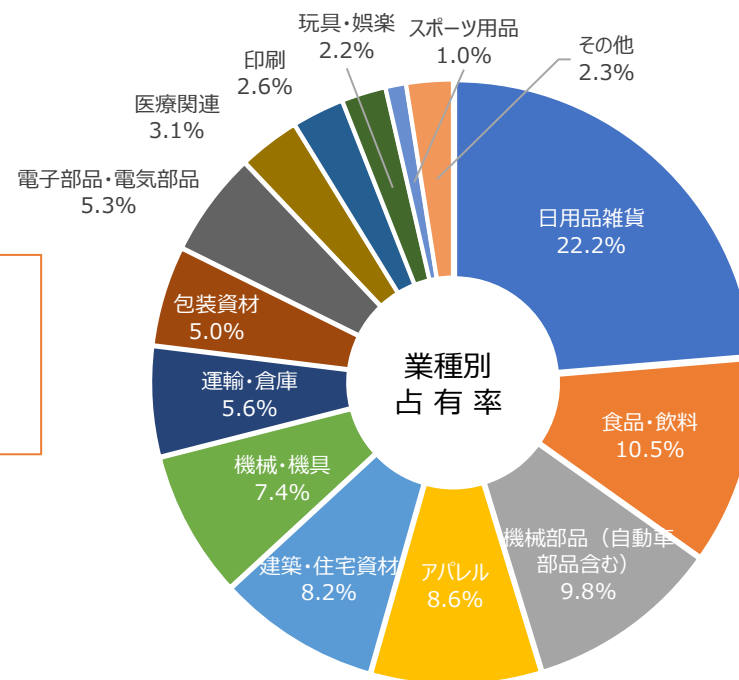
運行便積載率



- 10月からの商品の値上げの影響により第3四半期の荷動きは上期からは鈍化したものの、前年を上回り推移
(重量 前年同期比：第1四半期 102.1% 第2四半期 103.7% ⇒ 第3四半期 103.1%)
(日当たり重量 前年同期比：第1四半期 102.1% 第2四半期 105.2% ⇒ 第3四半期 101.6%)
- kg単価 前年同期比：上期100.7% ⇒ 第3四半期102.0%
- 主要コストは引き続き増加しているが、重量当たりのコストは重量の回復及び業務の効率化により伸びを抑制
- 価格転嫁の遅れはあるものの、単価改善、重量の回復、業務の効率化により、発生額ベースのマージンは前年比103.0%
- 重量当たりベースのマージンについては、第3四半期は前年同水準まで改善
- 運行便積載率は、より一層深刻化するであろうドライバー不足に備えた車両の大型化により低下

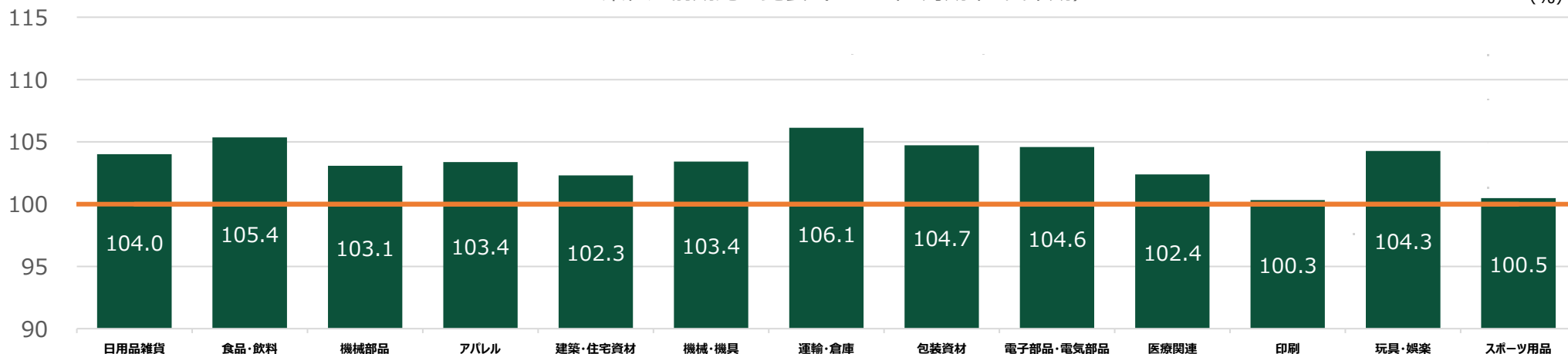
6.業種別傾向

- ・主力の日用品は物価値上がり等の影響により、伸び率は鈍化
- ・運輸・倉庫関連は、新規顧客獲得が寄与して増加
- ・建築・住宅資材に関しては、資材費の高騰等を受けて伸び率が鈍化



業種別前期比一覧表（2025年3月期第3四半期）

(%)



7.2025年3月期 連結業績予想

(単位：百万円/%)	2024年 3月期実績	2025年 3月期予想	前期比
売上高	287,563	300,700	104.6
営業利益 (営業利益率)	10,448 (3.6)	6,700 (2.2)	64.1
経常利益 (経常利益率)	12,973 (4.5)	9,100 (3.0)	70.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,834	8,000	102.1



本資料は、当社グループの財務情報、経営指標等の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。内容については、細心の注意を払っておりますが、妥当性、正確性、有用性について保証するものではありません。将来の業績に関する内容が一部含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、様々な要因によって変動する可能性があることにご留意ください。投資に関する最終決定は、ご自身の判断で行うようお願いいたします。当社としては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。